

環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

基本的方向 7 環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

基本的方向 7

環境学習の推進および 環境人材の育成と活躍の場の創出

子どもの環境学習を進める仕組みづくり

生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

環境人材の育成と活躍できる環境づくり

環境学習が行われる機会は大きく分けて2つあります。ひとつは学校であり、総合的な学習の時間で地域教材を活用した環境学習が行われていますし、理科や社会科といった教科の中でも多くの学年で環境に関する学習が行われています。

もうひとつは、公民館活動を中心とした生涯学習です。公民館は飯田市の生涯学習において重要な役割を担っていますが、その講座支援事業のひとつに環境学習があります。しかし、近年の開催状況を見る限りでは、他の分野と比較して活発とは言い難い状況です。

今後は、環境分野に携わる行政、関係団体、市民が協働し、環境教育の担い手のリストや具体的なプログラム等を整理し、学校や公民館が企画、運営しやすいように提示していくことで、環境学習への幅広い世代の市民参加を促していくことが重要です。



7-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり

- 環境チェッカーの活動や自然観察学習会を通じた環境学習の推進
- 森林や山での野外体験を通じた環境学習の推進
- 環境学習や体験活動の場の維持管理
- 小中学生への環境教育の実施

7-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

- 域産域消の「食」の啓発・推進（フードマイレージ）
- 河川にまつわる自然・環境・歴史などの生涯学習の推進
- 身近な場所（公民館）で行われる環境学習や調査
- 美術博物館における伊那谷の自然や環境への学び
- 「りんご並木のエコハウス」等を活用した環境講座

7-3 環境人材の育成と活躍できる環境づくり

- 環境保全型農家の育成
- 環境アドバイザーや環境チェッカーの活動支援
- 伊那谷の自然と文化の調査とデータ整備・公開
- 3Rの推進、ごみの適正処理のための学習会への講師派遣
- 気候変動に関する環境学習の推進

基本的方向 7-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり



小学校での環境学習

1 目指す将来像と現状（平成 29 年）から考えた 4 年後の目標

- 環境人材バンクや学習の場に関する情報網の整備がされており、年代に応じた分かりやすいプログラムが提供できています。
- 幼稚園、保育園、小中学校での環境学習に、行政や関係機関から取り組みやすいプログラムが提示されて、様々な場面で実施できる体制が整えられています。
- 子どもたちが日常生活でごみの分別の意識を高めています。



2 取組目標に対する進捗状況

4 年後の目標に到達する手段	令和元年度の進捗状況
●子どもに対する自然体験の場づくりや環境学習プログラム整備と開発を行います	○
●環境学習プログラムを活用した環境学習が行われる機会を創出し支援します	○
●環境アドバイザー派遣により、小中学校で環境学習を支援します	○
●小学生を対象としたごみの分別を学ぶ機会や、環境保全への関心を高める機会を提供します	◎

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中 △：外部要因により実施停滞 ×：未着手

3 令和元年度取組状況

- 松川入で植樹祭を開催し、森林に対する親しみや大切さを感じてもらえる機会を設けることができました。
- 市内小学校 4 年生を対象に、自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識の高揚を図りました。同様に、ごみの分別についての社会科副読本を作成し配布しました。
- 市内外の学校や地域団体を対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全への意識の高揚を図りました。
- 児童による緑の少年団活動等を通じ、自然環境や森林づくりの重要性の理解が進みました。

4 次年度に向けた課題及び取組

- 公民館・学校等、様々な関連団体と協力し、環境教育プログラムを活用した学びの場を設けます。
- 整備したプログラムを有効に活用してもらえよう、講座等の開催方法や学校教育への組み込みについて検討し、学校や地域に環境学習への取組を働きかけます。

5 対応する事務事業（資料編参照）

- No.143 環境汚染対策事業
- No.154 3R推進事業
- No.186 森林病虫害対策事業
- No.187 森林鳥獣被害対策事業
- No.192 森づくり市民活動支援事業
- No.232 社会基盤維持管理事業
- No.245 公園維持管理事業
- No.246 飯田子どもの森管理運営事業
- No.265 大平宿泊訓練施設管理事業

基本的方向 7-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり



こどもエコ講座

1 目指す将来像と現状（平成 29 年）から考えた 4 年後の目標

- 市民ニーズに合わせた多種多様な環境学習プログラムが構築され、生涯学習のひとつとして多くの市民が環境学習に参加しています。
- それぞれの公民館が環境学習を企画しやすいように、プログラム案の作成支援やサポート、情報提供が実施されています。
- 参加者自ら調査や研究に関わる体験活動型の環境学習が行われています。



2 取組目標に対する進捗状況

4 年後の目標に到達する手段	令和元年度の進捗状況
●取組みやすい環境学習プログラムを構築します	◎
●環境学習プログラムを活用した環境学習が行われる機会を創出し支援します	○
●公民館等の学習メニューに体験活動型の環境学習が行えるよう支援します。	○

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中 △：外部要因により実施停滞 ×：未着手

3 令和元年度の取組状況

- 飯田下伊那地域の行事食、郷土食を実践する食ごよみ実践講座は、27 名の受講があり年間をとおして 8 回の講座を行いました
- 農村女性 2 団体の研修会では、会員間の交流促進、地元食材を活用した調理講習等の食育活動を支援しました。
- 天竜川総合学習館では、天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示を行い、一般観覧者に対応するとともに、週 1～2 回の講座開催による環境等の学習を推進しました。
- 天竜川総合学習館では、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図りました。
- 地区内の身近な自然とのふれあい活動を通じ、住民同士の交流を深め、環境保全や改善活動に取り組む活動を支援しました。
- 美術博物館では、自然部門として自然講座、子ども科学工作教室、子ども地球探検隊、天文教室、化石標本室ワークショップ、自然史発表会など行いました。

4 次年度に向けた課題及び取組

- 地域内の農村女性団体等の活動を支援する県・ＪＡの事務局と課題を共有し、活動の方向性、支援のあり方等を検討します。
- 天竜川総合学習館は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、天竜川上流河川事務所の指示により３月に閉館した影響で、来館者数、講座数ともに減少しました。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の休止、縮小は避けられない見込みであるため、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な措置を実施していきます。
- 美術博物館では、従前の教育普及事業の精査を行い、学校利用に向け人員の確保と受け入れ体制を構築します。また新たな講座の開催方法や情報発信を検討し実施します。

5 対応する事務事業（資料編参照）

- No.153 エコライフ啓発普及事業
- No.170 元気な農村づくり推進事業
- No.171 堆肥センター運営事業
- No.239 天竜川総合学習館管理運営事業
- No.302 学習交流支援事業
- No.305 環境学習交流支援事業
- No.315 美術博物館教育普及・活動支援事業
- No.316 美術博物館プラネタリウム運営事業

基本的方向 7-3 環境人材の育成と活躍できる環境づくり



中学校での環境学習

1 目指す将来像と現状（平成 29 年）から考えた 4 年後の目標

- 整備されたプログラムに合わせた人材の発掘と育成が行われ、環境学習を担う人材が創出されています。
- 環境学習を担う人材が必要とするデータの整備が進んでいます。
- 環境アドバイザー制度や環境 NPO、環境保護団体等のネットワークを基にした環境人材バンクが整備され、環境学習のコーディネート体制の構築が進んでいます。



2 取組目標に対する進捗状況

4 年後の目標に到達する手段	令和元年度の進捗状況
●地域の関係者等と連携した環境学習プログラムを整備します	◎
●環境学習プログラムに対応できる継続的な人材の発掘と育成に努めます	○
●情報提供の仕組みを構築するとともに、地域、学校、催事など各場面での環境アドバイザー制度の更なる利用拡大を図ります	◎
●環境人材バンク、環境学習プログラムへの需要と供給のコーディネート体制を整備します	○

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中 △：外部要因により実施停滞 ×：未着手

3 令和元年度の取組状況

- 環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習機会を設けました。
- より広い環境意識の高まりと人材の育成のため、環境教育のプログラムを整備しました。
- 美術博物館では、自然・人文・美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会や講座等に活用しました。また、研究成果は学会発表や学術雑誌、研究紀要、伊那谷自然史論集などで公表しました。

4 次年度に向けた課題及び取組

- 整備したプログラムを有効に活用してもらえるよう、講座等の開催方法や学校教育への組み込みについて検討し、学校や地域に環境学習への取り組みを働きかけます。

5 対応する事務事業（資料編参照）

- No.145 環境教育推進事業
- No.153 エコライフ啓発普及事業
- No.154 3R 推進事業
- No.313 美術博物館資料調査研究・収集保管事業
- No.315 美術博物館教育普及・活動支援事業

ミニ特集 エコライフ啓発普及事業

飯田市環境モデル都市推進課の「エコライフ啓発普及事業」では、こどもエコ講座や女性のためのエコ講座、親子で参加できるエコ・クッキングなど様々な講座の開催を支援しています。主には、**飯田市 環境モデル都市推進課**のスペシャルサイトで告知と参加募集を行っています。是非皆さまも講座を通して、エコライフに取り組みましょう！

